

NTCAA2011 参加報告

工学府先端機能システム工学専攻D1 服部 祐一



学会概要

私は、2011年10月26日〜28日にスペインのバルセロナのカタルーニャ工科大学で開催されたブロードバンドとワイヤレスコンピューティング、コミュニケーションとアプリケーションの国際学会 (BWCCA 2011) に参加してきました。私が今回発表したのは、その中のネットワーク関連の国際ワークショップである NTCAA2011 です。今回は、初の1人での海外でしたので、タクシーで英語が通じないなど不安な点多々ありましたが、どうにか無事に発表をこなすことができました。

今回発表した研究内容は、我々の研究室で開発した行動情報共有システム「ALKAN2」を用いて収集した人間の行動のセンサデータを可視化する手法に関する研究でした。今回は、質疑でも有益な質問を頂くことができ今後の研究の参考となるものを得ることができました。

この学会は、別の P2P、パラル、グリッド、クラウドとインターネットコンピューティングの国際学会 (3PGIC2011) と併設で3日間開催され、多くの方が参加されました。今回の学会の分野は日本人の方も多々参加されており、この分野に於いては、日本人の方も多く活躍されていることが認識できました。日本人以外の方とお話する機会も多々あり、非常に有益な時間を過ごすことができました。また、多くの刺激を受けることができ、自分自身のモチベーションも大きく向上したと思います。



発表風景

バルセロナの様子

今回、学会の最終日が昼まででしたのでバルセロナの街中まで行く機会がありました。バルセロナの街並みは古い街並みそのまま残っており、非常に興味深いところでした。また、有名な教会などがある観光地でもあるため、英語が通じたので、現地の方と話す機会もあり非常に有意義な時間を過ごせました。写真は、カテドラルと呼ばれる教会の上から撮ったものです。屋上まで行くエレベーターがあり、それに乗ると街を見おろすことができました。あまり高

い建物がないため遠くまで見渡すことができ絶景でした。また、教会内には美しいステンドグラスもあり非常に興味深いものでした。また、今回は宿泊先が大学のゲストハウスということもあり、近くのデパートなどへも足を運んだのですが、観光地から外れるとやはり英語が通じず、苦労しました。



カテドラルの屋上から

最後に学会参加にあたり、奨学金を援助していただいた明専会、論文執筆及び発表に関してご指導賜りました井上創造准教授に厚く御礼申し上げます。